



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

上場会社名 株式会社名村造船所

上場取引所

東

コード番号 7014

URL <https://www.namura.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名村 建介

問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員経營業務本部長

(氏名) 向 周

TEL 06-6543-3561

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	36,487	△8.2	5,758	△33.2	5,911	△39.6	4,562	△52.9
2025年3月期第1四半期	39,760	33.4	8,614	199.8	9,792	83.9	9,694	119.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 7,142百万円(△40.4%) 2025年3月期第1四半期 11,977百万円(83.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	65.75	65.20
2025年3月期第1四半期	139.79	138.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	222,379	110,201	49.2
2025年3月期	209,037	105,142	50.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 109,486百万円 2025年3月期 104,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	158,000	△0.8	21,000	△28.7	21,000	△28.8	15,000	△42.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	69,385,551株	2025年3月期	69,385,551株
2026年3月期1Q	9,480株	2025年3月期	9,411株
2026年3月期1Q	69,376,103株	2025年3月期1Q	69,346,129株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する説明	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する説明

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	39,760	36,487	△3,273	△8.2%
営業利益	8,614	5,758	△2,856	△33.2%
経常利益	9,792	5,911	△3,881	△39.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,694	4,562	△5,132	△52.9%

当第1四半期連結累計期間の為替レートは以下のとおりです。

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	差額
売上高平均レート(第1四半期連結累計期間)(注1)	155.47円/US\$	145.36円/US\$	10.11円 円高
期末レート(第1四半期連結会計期間末)(注2)	161.07円/US\$	144.81円/US\$	16.26円 円高

(注1)売上高平均レートは、「為替予約済レートを含む円換算売上高総額」÷「ドル建て売上高総額」であります。

(注2)未入金かつ未予約のドル建売上高は当第1四半期連結会計期間末のレートでもって円換算しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、中核である新造船事業ではグループの中核商品であるハンディ型撒積運搬船を軸に順調に工事を進捗させ、他事業においてもほぼ計画通りに推移した結果、売上高は36,487百万円、営業利益は5,758百万円、経常利益は5,911百万円、税金等調整前四半期純利益は5,911百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,562百万円と、概ね期初計画通りの結果となりました。

当第1四半期連結累計期間の円／ドル為替レートは、期初に想定した水準で推移いたしましたが、前年同期間比では10円以上の円高であったため、前年同期間との業績比較は減収減益となりました。

<セグメント別概況>

(単位：百万円)

	売上高				営業利益(△は損失)			
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
新造船	32,208	29,374	△2,834	△8.8%	8,369	5,691	△2,678	△32.0%
修繕船	4,528	4,118	△410	△9.1%	656	530	△126	△19.2%
鉄構・機械	1,044	1,310	266	25.5%	△49	77	126	—
その他	1,980	1,685	△295	△14.9%	202	215	13	6.1%
計	39,760	36,487	△3,273	△8.2%	9,178	6,513	△2,665	△29.0%
消去又は全社	—	—	—	—	△564	△755	△191	—
連結	39,760	36,487	△3,273	△8.2%	8,614	5,758	△2,856	△33.2%

<新造船事業>

当第1四半期連結累計期間の売上高は29,374百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は5,691百万円（前年同期比32.0%減）となりました。売上高平均レートが前年同期と比べて約10円円高であったことに加えて、インフレ等による材料費の高騰と人件費上昇などにより、前年同期比では減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、大型撒積運搬船1隻、ハンディ型撒積運搬船3隻を完工し、大型撒積運搬船4隻、ハンディ型撒積運搬船1隻を受注した結果、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は420,113百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

なお、函館どつく株式会社は、主力商品であるハンディ型撒積運搬船をニューモデルに切り替えましたが、第1船の建造実績の徹底的なフィードバックを2隻目以降の後続船に生かし、年間建造量は前年比増を目指しております。

<修繕船事業>

佐世保重工業株式会社と函館どつく株式会社が担う修繕船事業においては、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,118百万円（前年同期比9.1%減）、営業利益は530百万円（前年同期比19.2%減）と、主力である国内艦艇の工事が前年同期に比べて少なかったこと等により減収減益となりました。

佐世保重工業株式会社においては、地球深部探査船「ちきゅう」などの技術難易度が高い特殊船の定期検査工事に取り組むとともに、前期に受注した米海軍向け艦艇工事を施工しており関係強化に努めてまいります。

函館どつく株式会社においては、世界初のLNG専焼石灰石運搬船「下北丸」の修繕検査工事を無事完工させるなど、技術力の向上による事業基盤の強化に努めております。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は、艦艇や保安庁船、商船のいずれにおいても大型工事の受注が少なかったことから7,158百万円（前年同期比46.2%減）となりました。

<鉄構・機械事業>

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,310百万円（前年同期比25.5%増）、営業利益は77百万円（前年同期は49百万円の営業損失）となりました。鉄構橋梁部門において操業度の低い状況が続きましたが、舶用機械部門においては、主力商品である舶用エンジン用クランクシャフト等の軸系の事業環境が改善して売上高が増加し、稼働率向上と原材料調達先の多様化によるコスト削減が進展したことから、鉄構・機械事業として営業利益を確保いたしました。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は、鉄構橋梁部門において長崎県から一般国道251号道路改良工事（4、5号橋上部工）を受注いたしました但し低水準に留まり、6,413百万円（前年同期比3.3%減、前期末比では18.7%増）となりました。

<その他事業>

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,685百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は215百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の受注残高は1,573百万円（前年同期比23.3%減）であります。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2025年6月30日)	増減
総資産	209,037	222,379	13,342
負債 (内有利子負債)	103,895 (17,726)	112,178 (17,617)	8,283 (△109)
純資産	105,142	110,201	5,059
自己資本比率	50.0%	49.2%	△0.8ポイント
有利子負債比率	17.0%	16.1%	△0.9ポイント

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、新造船の受注増による現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて13,342百万円増加し、222,379百万円となりました。

負債は、新規受注案件の増加に伴う契約負債の増加などにより前連結会計年度末に比べて8,283百万円増加し、112,178百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を4,562百万円計上したこと等から、前連結会計年度末に比べて5,059百万円増加して110,201百万円となりましたが総資産の増加額が大きく、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は0.8ポイント減の49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期(第127期)の通期の連結業績予想および配当予想につきましては、現時点においては2025年5月13日に公表しました数値を据え置いております。

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結累計期間 (実績)	5月13日公表 通期予想値	進捗率
売上高	36,487	158,000	23.1%
営業利益	5,758	21,000	27.4%
経常利益	5,911	21,000	28.1%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,562	15,000	30.4%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	90,140	99,913
受取手形、売掛金及び契約資産	40,099	37,564
商品及び製品	70	83
仕掛品	3,156	3,563
原材料及び貯蔵品	1,966	1,562
その他	5,879	8,147
流動資産合計	141,310	150,832
固定資産		
有形固定資産	33,517	33,004
無形固定資産	473	485
投資その他の資産		
投資有価証券	32,552	36,881
その他	1,185	1,177
投資その他の資産合計	33,737	38,058
固定資産合計	67,227	71,547
資産合計	209,037	222,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,475	14,310
電子記録債務	4,502	4,107
短期借入金	4,873	5,172
未払法人税等	2,460	798
契約負債	40,807	52,783
工事損失引当金	243	67
保証工事引当金	634	596
その他の引当金	79	5
その他	8,337	7,323
流動負債合計	78,410	85,161
固定負債		
長期借入金	12,853	12,445
その他の引当金	302	310
退職給付に係る負債	5,112	5,221
その他	7,218	9,041
固定負債合計	25,485	27,017
負債合計	103,895	112,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,200	8,200
資本剰余金	27,083	27,083
利益剰余金	49,099	51,580
自己株式	△6	△6
株主資本合計	84,376	86,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,323	21,115
繰延ヘッジ損益	△15	△30
為替換算調整勘定	1,042	878
退職給付に係る調整累計額	706	666
その他の包括利益累計額合計	20,056	22,629
新株予約権	332	332
非支配株主持分	378	383
純資産合計	105,142	110,201
負債純資産合計	209,037	222,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	39,760	36,487
売上原価	29,654	28,960
売上総利益	10,106	7,527
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	580	677
その他	912	1,092
販売費及び一般管理費合計	1,492	1,769
営業利益	8,614	5,758
営業外収益		
受取利息	8	33
受取配当金	558	775
為替差益	618	—
持分法による投資利益	17	18
その他	88	240
営業外収益合計	1,289	1,066
営業外費用		
支払利息	47	69
為替差損	—	737
その他	64	107
営業外費用合計	111	913
経常利益	9,792	5,911
税金等調整前四半期純利益	9,792	5,911
法人税、住民税及び事業税	1,105	746
法人税等調整額	△1,065	599
法人税等合計	40	1,345
四半期純利益	9,752	4,566
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,694	4,562

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	9,752	4,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,189	2,795
繰延ヘッジ損益	62	△15
為替換算調整勘定	20	△164
退職給付に係る調整額	△46	△40
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	2,225	2,576
四半期包括利益	11,977	7,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,919	7,135
非支配株主に係る四半期包括利益	58	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	32,208	4,528	1,044	1,980	39,760	—	39,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	122	122	△122	—
計	32,208	4,528	1,044	2,102	39,882	△122	39,760
セグメント利益又は セグメント損失(△)	8,369	656	△49	202	9,178	△564	8,614

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△564百万円には、セグメント間取引消去△2百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	29,374	4,118	1,310	1,685	36,487	—	36,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	86	86	△86	—
計	29,374	4,118	1,310	1,771	36,573	△86	36,487
セグメント利益	5,691	530	77	215	6,513	△755	5,758

(注) 1 セグメント利益の調整額△755百万円には、セグメント間取引消去△2百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△753百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	811百万円	890百万円